

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-3-1		事業名	冬の公園利用活性化事業
担当	環境局みどりの推進部みどりの管理課 岡崎 211-2536			
全体計画（当初）				
事業内容	冬の公園利用活性化 地域住民が主体となった雪を利用した遊具等の設置（雪を利用したスキー山等） 市民による冬季公園利用イベント開催支援 冬季屋外活動の指導員（プレイリーダー）の育成		＜年度別の事業内容＞	
			地域住民が主体となった雪を利用した遊具等の設置（雪を利用したスキー山等） 市民による冬季公園利用イベント開催支援 冬季屋外活動の指導員（プレイリーダー）の育成	
事業内容 （量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	冬季イベント開催310件		冬季イベント開催284件	
事業内容 （量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	市民団体との共催により、旭山記念公園で「旭山冬のフェスティバル」を開催した。フェスティバルの内容は、スノーシューを使用した自然観察会、イグルー作り、スノーキャンドル等を実施した。 冬の公園利用における実態調査を5箇所の街区公園で実施した。		市民団体との共催によるイベントを開催し、冬季間の公園利用への関心を高め、各地域における冬季公園利用のきっかけが作られた。	
		課題		
		ゆたかな北国の暮らしを実現するために、子ども達の冬の遊びや高齢者の健康づくりなど、イベントや活動事例の情報を幅広く収集し、効果的に市民に情報提供する必要がある。		
19年度以降の方向性・事業の予定				
当面は、各区土木センター等を通じて、冬季間に実施されている雪中運動会やスノーキャンドル等市民が企画するイベントの情報を収集し、ホームページで情報を発信するとともに、市民団体等にイベントの開催を働きかけ、その活動を側面的に支援する。				

